

# 記入要領

収入がない方は、氏名の後に「収入なし(学生の方は、『学生のため収入なし』)」と記入してください。

# ひとり親世帯家計急変者用

様式第4号(第7条関係)

## 簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用) 【家計急変者】

申請者と同じ月の収入をご記入ください

申請者と同じ月の収入をご記載ください

- 「令和4年度米子市子育て世帯への生活支援給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」、「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」と一緒に提出してください。
- 申請者からみて、同居の父母、祖父母、子、孫、曾祖父母、曾孫、兄弟姉妹、配偶者で18歳以上の方がいる場合に記入してください。※複数いる場合はコピーしてください。
- 収入がない方は、氏名の後に「収入なし(学生の方は、『学生のため収入なし』)」と記入してください。添付書類と、②～⑤の記入は不要ですが、裏面の【確認事項】を確認し、氏名を記入してください。
- 下記にある【要件】を満たす場合に支給の対象となります。※申請者本人の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

① 申請者と生計を同じくする方の属性にチェック(☑)の上、名前をご記入ください。

父母  祖父母  子  孫  曾祖父母  曾孫  兄弟姉妹  配偶者

氏名 米子 花子

② 令和2年2月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳及びその合計額をご記入ください。

収入内訳	令和4年7月										円	注意事項						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
給与収入【a】											1	2	0	0	0	0	円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【b】											6	0	0	0	0	0	円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※月次内訳書などの帳簿をご提出ください。
年金収入【c】											1	1	2	4	3	5	円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
収入合計額【a+b+c】											2	9	2	4	3	5	円	※青枠の収入額の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。 ×12

③ ②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額 3 5 0 9 2 2 0 円

④ ①の方が生計を同じくし養っている親族の氏名をご記入ください。【☆】

フリガナ 氏名	該当する場合は○		フリガナ 氏名	該当する場合は○	
	70歳以上 (配偶者以外)	の親族		70歳以上 (配偶者以外)	の親族
1			4		
2			5		
3			6		

収入合計額を X 12して算出した年間の収入見込額を、赤枠に記入してください。

⑤ ④でご記入いただいた人数にチェックをしていただき、要件に該当するかの計算をおこなってください。

④の人数にチェックしてください。	基準額	【要件チェック】
<input checked="" type="checkbox"/> 0人	3,725,000円	i 左側で選択した基準額 3,725,000 円
<input type="checkbox"/> 1人	4,200,000円	ii ④の○の数×60,000円 0 円
<input type="checkbox"/> 2人	4,675,000円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)
<input type="checkbox"/> 3人	5,150,000円	収入基準額 (i + ii) 3,725,000 円
<input type="checkbox"/> 4人	5,625,000円	
<input type="checkbox"/> 5人	6,100,000円	
<input type="checkbox"/> 人	円	年間収入見込額(③) 3,509,200 円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

→【要件】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことにより支給の対象となります。

総支給額を記入してください。  
※給与収入がない方は0と記入してください。

任意の1か月分の収支がわかる帳簿、月次内訳書などを提出してください。

公的年金収入がある場合のみご記入ください。  
※任意の1か月分(2か月分の振込額を2で割った額)の年金額を記入してください。

青枠の合計額をご記入ください。

年間収入見込額が収入基準額を下回る場合、要件に該当しません。  
裏面の【確認事項】を確認いただき、日付、氏名を記載してください。

年間収入見込み額が収入基準を上回る場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことで支給の対象になります。

(次ページに続きます。) ※次ページに氏名の記入欄があります。必ずご記入ください。

次ページに署名欄があります。必ずご記入ください。

**【確認事項】** ※申請に必要な事項であるため、必ず確認し、氏名をご記入ください。

(該当しない場合は、支給対象外となる可能性があるため、お問い合わせください。)

- ・ **【要件】**に該当します。 ・ 収入額が分かる書類（給与明細書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- ・ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・ 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、市区町村等が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ・ 本申立の内容に相違ありません。

令和 4年 11月 25日

申請者氏名 米子 太郎

扶養義務者氏名 米子 花子

**※要件を満たす方は、必ず日付、氏名をご記入ください。**

簡易な収入額の申立書(申請者本人用・扶養義務者用)で要件を満たした方は不要です。

様式第4号(第7条関係)

簡易な所得見込額の申立書  
【家計急変者】

○「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」の【要件2】又は「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」の【要件】を満たさなくても、以下の【所得要件】を満たせば支給の対象となります。

★所得で申し立てたい方の氏名を記載の上、その方の申請者からみた属性にチェック(☑)してください。

氏名	米子 太郎	属性	<input checked="" type="checkbox"/> 本人 □父母 □祖父 □祖母 □子 □孫 □曾祖父母 □曾孫 □兄弟姉妹 □配偶者
----	-------	----	---

所得で申し立てたい方の氏名と、申請者からみた属性にチェックしてください。

以下、上記の氏名の方についての必要な情報をご記入してください。

A 「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」または「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」の③欄の金額をご記入ください。

年間収入見込額	3 2 7 8 9 6 4	円
---------	---------------	---

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で算出した「③ ②」の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。」で算出した金額をご記入ください。

控除等

B Aの年間収入見込額のうち、養育費に係る控除の見込額(12か月分)

養育費を記入した方		0	円
-----------	--	---	---

※養育費の20%の金額をご記入ください。  
※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。

C Aの年間収入見込額のうち、給与収入に係る給与所得控除の見込額(12か月分)

給与収入を記入した方		5 5 0 0 0 0	円
------------	--	-------------	---

※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。

給与所得控除	①Aの額のうち給与収入分が55万円未満 → 給与収入分の全額 ②Aの額のうち給与収入分が55万円超162.5万円以下 → 55万円 ③Aの額のうち給与収入分が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40% - 10万円 ④Aの額のうち給与収入分が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30% + 8万円 ⑤Aの額のうち給与収入分が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20% + 44万円
--------	--

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で記載した月額給与収入額×12をしたあと、下欄で給与所得控除額を確認し、金額を記載してください。

D Aの年間収入見込額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の見込額(12か月分)

事業収入又は不動産収入を記入した方		1 4 4 0 0 0	円
-------------------	--	-------------	---

※Aを算出するための任意の1か月の事業又は不動産収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください。  
※月次内取書などの帳簿をご提出ください。

※月額給与収入が120,000円の場合  
120,000円×12 = 1,440,000円(給与収入分)  
給与所得控除55万円

E Aの年間収入見込額のうち、公的年金等収入に係る公的年金等控除の見込額(12か月分)

年金収入を記入した方		7 0 1 4 7 3	円
------------	--	-------------	---

※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。

公的年金等控除	①Aの額のうち年金収入分が60万円未満 → 年金等収入分の全額 ②Aの額のうち年金収入分が60万円以上130万円以下の方 → 60万円 ③Aの額のうち年金収入分が130万円超410万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×75% - 27.5万円 ④Aの額のうち年金収入分が410万円超770万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×85% - 68.5万円
---------	--

F その他の控除

控除名	a	5 8 0 0 0	円	e		円
控除名	b		円	f		円
控除名	c		円	g		円
控除名	d		円	h		円
その他控除額合計(a+b+c+d+e+f+g+h)			円			円

※別添の「控除対象一覧表」のうち、当てはまるものの項番または控除名をご記入ください。  
※控除が4つ以上ある場合は、一つの控除名の欄に、2つの項番または控除名をご記入ください。

次ページに署名欄があります。必ずご記入ください。

G 社会保険料相当額

		8 0 0 0 0	円
--	--	-----------	---

※一律8万円の控除となるため、記載不要です。

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で記入した月額の年金額×12をしたあと、下欄で公的年金等控除額を確認し、控除額を記載してください。

H 各控除等の控除後の年間所得見込額 A - (B + C + D + E + F + G)

年間所得見込額	1 6 4 6 4 7 3	円
---------	---------------	---

※月額年金収入額108,497円の場合  
108,497円×12 = 1,301,964円(公的年金等収入分)  
公的年金等収入分×75% - 27.5万円で算出

→扶養親族が1人の場合には、Hが230万円未満であれば【所得要件】を満たすため、Iの記載は不要です。

(次ページに続きます) ※次ページに氏名の記入欄があります。必ずご記入ください。

I 要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のどちらか当てはまる方を選択してください。

「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用)  
収入基準Aの方

その他の方

(2) 「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】と同じ人数にチェックしてください。

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	1,920,000円
	1人	2,300,000円
	2人	2,680,000円
	3人	3,060,000円
	4人	3,440,000円
	5人	3,820,000円
	人	円

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	2,360,000円
	1人	2,740,000円
	2人	3,120,000円
	3人	3,500,000円
	4人	3,880,000円
	5人	4,260,000円
	人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

(3) 「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】を用いて計算を行ってください。

i (2) で選択した基準額	3,060,000	円
ii ☆の◎の数×150,000円	0	円
iii ☆の○の数×100,000円	100,000	円
<b>所得基準額 (i + ii + iii)</b>	<b>3,160,000</b>	<b>円</b>
∨		
<b>年間所得見込額 (表面のH)</b>	<b>1,646,473</b>	<b>円</b>

i (2) で選択した基準額		円
ii ☆の○の数×60,000円		円
(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)		
<b>所得基準額 (i + ii)</b>		<b>円</b>
∨		
<b>年間所得見込額 (表面のH)</b>		<b>円</b>

→ 【所得要件】Hの年間所得見込額が所得基準額より低いこと

【確認事項】※申請に必要な事項であるため、必ず確認し、氏名をご記入ください。  
(該当しない場合は、支給対象外となる可能性があるため、お問い合わせください。)

- ・ 【所得要件】に該当します。
- ・ 控除額が分かる書類(帳簿等)を提出しています。  
(前ページのD欄に記入した場合のみ)
- ・ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の所得見込額が所得基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・ 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、市区町村等が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ・ 本申立の内容に相違ありません。

令和 4年 11月 25日

申請者氏名 米子 太郎

扶養義務者氏名 米子 花子

扶養親族が1人で表面H欄の金額が230万円未満となった方以外は、あてはまる箇所にチェックして下さい。

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)【☆】と同じ人数にチェックしてください。

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)【☆】を用いて計算を行ってください。

年間所得見込額が所得基準額を下回る場合、要件に該当します。下記【確認事項】を確認いただき、日付、氏名を記載してください。

※要件を満たす方は必ず日付、氏名をご記入ください。